

企画展 日記が語る台東区5『藤岡屋日記』の世界

—安政江戸大地震と幕末の台東区—

『藤岡屋日記』は、神田御成道の本屋、須藤由蔵（藤岡屋由蔵）による広範な情報を集めた史料です。日記といっても現代の日記と

は違い、噂話やビラなどさまざまなメディアから引用してきたその内容は、幕末の江戸の世相を詳細に映し出しています。

本企画展では、日記から台東区の地域情報に注目し、特に安政2年（1855）に起きた安政大地震など、幕末期における大小さまざまな事件をご紹介します。

トーク・イベント 『藤岡屋日記』の世界

参加
無料

- 内容** 2名の講師が、それぞれの視点から藤岡屋日記についてお話しします。
- タイトル** ①『藤岡屋日記』にみる台東区
- 講師** 平野 恵（当館郷土・資料調査室専門員）
- タイトル** ②『藤岡屋日記』にみる江戸の明治維新
- 講師** 滝口正哉（成城大学講師）
- 日時** 7月8日（日）14時～16時
- 会場** 台東区生涯学習センター 301 研修室
- 定員** 50名（事前申込制、抽選）
- 申込** 往復はがき（1人1枚）に「トーク・イベント参加」、氏名・住所・電話番号を記入のうえ、下記まで。またはホームページから応募。
- 締切** 6月27日（水）17時まで。



天保13年（1842）、天保の改革の一環として、芝居小屋が浅草寺裏の地に移転、猿若町が誕生した。日記では、庶民の関心ごとであるこのニュースをとりあげている。

◀『狂歌東都花日千両』



安政大地震に被災した妓楼が、近隣の地に仮営業した「仮宅」の案内書。本書には、地震で曲がってしまった浅草寺五重塔の九輪が描かれる。

◀『仮宅細見』

専門員による ギャラリー・トーク

- 内容** 展示品の見どころを直接会場で解説します。
- 日時** 8月12日（日）16時15分～17時
- 会場** 台東区立中央図書館2階郷土・資料調査室
- 定員** 先着20名
- 申込** 事前来館のうえ申込

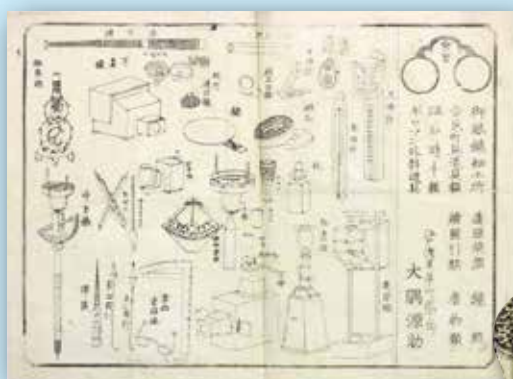


日記には、安政大地震を記録した別本2冊がある。ここでは、松坂屋・松源など、具体的な店の名前が登場する。

◀『藤岡屋日記』別本「安政乙卯年十月二日江戸大地震（上）」東京都公文書館蔵

専門員による スライド・トーク

- 内容** 展示の見どころをスライドで解説します。
- 日時** 9月13日（木）18時～19時
- 会場** 台東区生涯学習センター 504 教育研修室
- 定員** 先着50名
- 申込** 不要



▲「大隅源助引札」

磁石

台東区立中央図書館2階 郷土・資料調査室

〒111-8621
台東区西浅草3-25-16
☎ 03-5246-5911



<http://www.city.taito.lg.jp/index/library/index.html>



日記によると、安政大地震が起きる2時間前に、浅草茅町の時計商・大隅源助のところで、磁石に吸い付いていた古釘や古錠などの鉄製品がすべて落ちたという。